

Cybozu[®] SP スケジューラー 管理者マニュアル

第 2.7 版

Cybozu

はじめに

このマニュアルでは、SP スケジューラーの管理方法や各機能の設定方法を説明しています。

対象読者

- SharePoint 2010 のサイトまたはサイトコレクションの管理者
- SP スケジューラーの管理者

本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
注意	操作に注意が必要な事項や制限事項
補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っていると便利な情報
[]	画面上のボタン、リンクまたはタブ
- ###ページ	参照先のページ

本書の作成環境

本書の作成環境は、次のとおりです。

- OS: Windows 7
- Web ブラウザー: Internet Explorer 9
- 製品バージョン: SP スケジューラー 1.1.9、SharePoint 2010

本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

本書で使用している製品名称と略称

本書では、次の略称を使用しています。

略称	製品名
SP Apps	Cybozu SP Apps 1.1.x
SP スケジューラー	Cybozu SP スケジューラー 1.1.x
SP ディスカッション	Cybozu SP ディスカッション 1.1.x
SharePoint 2010	Microsoft SharePoint 2010
Exchange Server 2010	Microsoft Exchange Server 2010

本書の取り扱いについて

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報を利用したことによって生じたいかなる損害についても、その責を負わないものとします。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『Cybozu SP スケジューラー 管理者マニュアル』を一部引用しています。」

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社の Web サイトを参照してください。
http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html
なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)
This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@cryptsoft.com)
This product includes software written by Tim Hudson
(tjh@cryptsoft.com)

目次

はじめに	2
目次	4
1章 SP スケジューラーの概要	6
2章 ユーザーに必要な権限	7
3章 インストール後に必要な設定	8
4章 SP スケジューラーの追加と削除	10
4.1 SP スケジューラーを追加する	10
4.1.1 既存のサイトに SP スケジューラーを追加する	10
4.1.2 サイト テンプレートを使用してサイトを作成する	12
4.2 SP スケジューラーを削除する	13
5章 管理設定	15
5.1 ライセンスを管理する	15
5.1.1 ライセンスを登録する	15
5.1.2 お客様番号を更新する	16
5.1.3 ライセンスの登録履歴を確認する	16
5.2 グループ情報の取得元を設定する	16
5.3 施設を設定する	18
5.3.1 施設の設定	18
5.3.2 施設グループの設定	20
5.3.3 SP スケジューラーごとに施設を設定する	21
5.3.4 CSV ファイルで施設や施設グループを管理する	22
5.4 SP Apps グループを管理する	24
5.4.1 SP Apps グループを追加する	24
5.4.2 SP Apps グループの設定を変更する	24
5.4.3 SP Apps グループを並び替える	25
5.4.4 SP Apps グループを削除する	25
5.5 ログを管理する	25
5.5.1 ログを設定する	26
5.5.2 ログを閲覧する	27
5.5.3 ログをごみ箱に移動する	27

5.5.4 ログをファイルに書き出す	28
5.6 Web パーツを設定する	28
5.6.1 Web パーツの設定	29
5.7 予定の保存期間を変更する	30
5.8 非公開予定を設定する	31
5.9 カレンダーのグループの選択肢を設定する	31
5.10 Exchange Server 連携を設定する	32
5.11 カレンダーにイベントを設定する	33
5.11.1 イベントを追加する	33
5.11.2 イベントのタイトルや日付を変更する	34
5.11.3 イベントを削除する	34
5.12 インターネット予定表の公開機能を有効化する	35
5.13 予定を一括削除する	36
付録A ログ一覧	37

1章 SP スケジューラーの概要

SP スケジューラーは、予定の管理と、予定の参加者同士のコミュニケーションを、1つのリスト上で行えるコラボレーションツールです。

個人的な予定のほかに、会議や複数人が参加するイベントなどを登録できます。また、会議の参加者がコメントを書き込んで、会議に関する情報を共有できます。

SP スケジューラーには、ほかにも次の機能があります。

- グループのメンバーの予定を2ステップで確認できます。
- 参加者や施設の空き時間を、専用のビューで見つけられます。
- Outlook に登録した予定をカレンダーに表示できます。*
- カレンダーに登録した予定を、Outlook の予定表に表示できます。
- 予定で使用する施設を予約できます。
- 定期的に繰り返す予定を登録できます。
- 参加者以外には非公開の予定を登録できます。
- 自分が参加する予定が追加された場合や、参加している予定が変更された場合に通知を受け取れます。通知はサイトのトップページで確認したり、電子メールを受信して確認したりできます。

* : Exchange Server 連携を設定する必要があります。

試用期間

SP スケジューラーの試用期間は、SP スケジューラーをサイトに追加してから 60 日間です。試用期間の終了後に SP スケジューラーの使用を継続する場合は、ライセンスを購入する必要があります。

ライセンスの価格や購入方法については、弊社 Web サイトを参照してください。

<http://spapps.cybozu.com/jp/products/sp-list-scheduler/index.html>

2章 ユーザーに必要な権限

この節では、SP スケジューラーのユーザーに必要な、SharePoint 2010 の権限を説明します。

SP スケジューラーを使用するユーザーに必要な権限は、操作ごとに異なります。

操作と必要な権限

アクセス許可レベル	操作					
	管理設定	イベントの追加	イベントの編集	イベントの削除	イベントの表示	コメントの書き込み
フルコントロール	○	○	○	○	○	○
デザイン	○	○	○	○	○	○
階層の管理	○	○	○	○	○	○
承認	×	○	○	○	○	○
投稿	×	○	○	○	○	○
読み取り	×	×	×	×	○	×
制限付き読み取り	×	×	×	×	○	×
制限付きアクセス	×	×	×	×	×	×
表示のみ	×	×	×	×	○	×

○:ユーザーが操作できることを表します。

×:ユーザーが操作できないことを表します。

3章 インストール後に必要な設定

この章では、SharePoint 2010 に SP スケジューラーをインストールしたあとに、使用を開始するまでに必要な設定を説明します。

補足

- SP スケジューラーのインストール方法については、次のマニュアルを参照してください。
『SP Apps インストールマニュアル』「インストール」

必須の設定

設定	説明	必要な権限
ライセンス	SP スケジューラーのライセンスを登録します。 SP スケジューラーを試用する場合は、この作業は必要ありません。 5.1 ライセンスを管理する - 15 ページ	サイトコレクションの管理権限
グループ情報の取得元	ユーザーの選択に使用するグループの、情報の取得元を設定します。情報の取得元には、SharePoint 2010 や Active Directory を指定できます。 5.2 グループ情報の取得元を設定する - 16 ページ	<ul style="list-style-type: none"> • サイトコレクションの管理権限 • SharePoint 2010 が動作しているサーバーの管理権限 (Active Directory をグループ情報の取得元にする場合のみ)
SP スケジューラーの追加	SP スケジューラーを使用するサイトに、SP スケジューラーのリストを追加します。 4.1 SP スケジューラーを追加する - 10 ページ	次のいずれかの権限 <ul style="list-style-type: none"> • サイトコレクションの管理権限 • サイトの管理権限

任意の設定

設定	説明	必要な権限
ログ	ログの保存期間や、ログを記録するリストなどを設定します。 5.5 ログを管理する - 25 ページ	サイトコレクションの管理権限
施設	会議室やプロジェクターなど、予定で使用する施設を登録します。 5.3 施設を設定する - 18 ページ	
Web パーツ	サイトのトップページには、次の種類の Web パーツを追加できます。 <ul style="list-style-type: none"> • SP スケジューラー Web パーツ SP スケジューラーのカレンダーが表示されます。ユーザーは、Web パーツに自分、ほかのユーザーや施設の予定を表示できます • 最新情報 Web パーツ ログインユーザーに関連する SP Apps の情報が更新されると、通知が表示されます。SP スケジューラーの通知だけでなく、SP ディスカッションなどの SP Apps のすべての機能の通知が表示されます。 	次のいずれかの権限 <ul style="list-style-type: none"> • サイトコレクションの管理権限 • サイトの管理権限

設定	説明	必要な権限
	5.6 Web パーツを設定する - 28 ページ	
非公開予定	非公開予定の登録に関する項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 非公開の予定の登録を禁止する 予定のデフォルトを非公開にする 5.8 非公開予定を設定する - 31 ページ	次のいずれかの権限 <ul style="list-style-type: none"> サイトコレクションの管理権限 サイトの管理権限 SP スケジューラーのリストに対する管理権限
Exchange Server 連携	SP スケジューラーと Exchange Server を連携するために必要な情報を設定します。Exchange Server と連携すると、SP スケジューラーのカレンダーに、Exchange Server に登録された予定を表示できるようになります。 5.10 Exchange Server 連携を設定する - 32 ページ	
イベント	祝日や休業日などをカレンダーに設定します。 5.11 カレンダーにイベントを設定する - 33 ページ	

4章 SP スケジューラーの追加と削除

4.1 SP スケジューラーを追加する

SP スケジューラーは、SharePoint 2010 のサイトに追加して使用します。この節では、SharePoint 2010 に SP スケジューラーを追加する方法と、SP スケジューラーを追加するサイトについての注意点を説明します。

次のいずれかの方法で、SharePoint 2010 に SP スケジューラーを追加します。

- 既存のサイトに SP スケジューラーを追加する
 - 4.1.1 既存のサイトに SP スケジューラーを追加する - 10 ページ
- サイト テンプレートを使用してサイトを作成する
 - SP Apps のサイトテンプレートを使用して、サイトを作成します。作成されるサイトでは、SP Apps のすべての機能が有効になります。
 - 4.1.2 サイト テンプレートを使用してサイトを作成する - 12 ページ

4.1.1 既存のサイトに SP スケジューラーを追加する

SharePoint 2010 の既存のサイトに、SP スケジューラーを追加します。

補足

- サイトに設定された言語が、追加する SP スケジューラーの表示言語になります。
- サイトに設定されている稼働時刻が、SP スケジューラーのカレンダーで表示される稼働時刻になります。
- 作成する SP スケジューラーには、サイトに対するユーザーの権限が継承されます。必要に応じて、SP スケジューラーに対するユーザーの権限を変更します。
2章 ユーザーに必要な権限 - 7 ページ
- サイトに SP Apps のスタイルを適用して、SP スケジューラーを使用できます。
サイトに SP Apps のスタイルを適用する - 11 ページ
- サイトに SP スケジューラーを追加するには、サイトに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

1 SP スケジューラーを追加するサイトで、[サイトの操作]をクリックします。

2 [その他のオプション...]をクリックします。

3 「Cybozu SP スケジューラー」を選択します。

「Cybozu SP スケジューラー」が表示されない場合は、そのサイトで SP スケジューラーをアクティブ化する必要があります。

SP スケジューラーをアクティブ化する - 11 ページ

- 4 リスト名やリストの言語など、必要な項目を指定します。
- 5 [作成]をクリックします。

SP スケジューラーをアクティブ化する

ここでは、SP スケジューラーをアクティブ化する手順を説明します。

リストの作成画面に「Cybozu SP スケジューラー」が表示されない場合には、そのサイトで SP スケジューラーをアクティブ化する必要があります。

- 1 SP スケジューラーを追加するサイトで、[サイトの操作]をクリックします。
- 2 [サイトの設定]をクリックします。
- 3 [サイト機能の管理]をクリックします。
- 4 「Cybozu SP スケジューラー」に対応する[アクティブ化]をクリックします。

サイトに SP Apps のスタイルを適用する

サイトに SP Apps のスタイルを適用して、SP スケジューラーを使用できます。

補足

- SP Apps のサイトテンプレートを使用して作成されたページには、SP Apps のスタイルが適用されています。
- サイトに SP Apps のスタイルを適用するには、サイトに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

- 1 スタイルを適用するサイトで、[サイトの操作]をクリックします。
- 2 [サイトの設定]をクリックします。
- 3 「外観」の[Cybozu SP Apps のスタイル]をクリックします。
- 4 「Ninja Style」を選択します。
- 5 スタイルをサブサイトにも適用する場合は「このサイトのサブサイトにスタイルを適用する」を選択します。
- 6 [適用する]をクリックします。

サイトのスタイルを元に戻す

サイトのスタイルを、SharePoint 2010 標準のスタイルに戻します。

- 1 スタイルを適用するサイトで、[サイトの操作]をクリックします。
- 2 [サイトの設定]をクリックします。
- 3 「外観」の[Cybozu SP Apps のスタイル]をクリックします。
- 4 「Microsoft SharePoint Foundation Default Style」を選択します。
- 5 スタイルをサブサイトにも適用する場合は「このサイトのサブサイトにスタイルを適用する」を選択します。
- 6 [適用する]をクリックします。

4.1.2 サイト テンプレートを使用してサイトを作成する

SP Apps のサイト テンプレートを使用して、サイトを作成します。

作成されるサイトには、次の特長があります。

- SP Apps のすべての機能が有効になります。
- サイトに SP Apps のスタイルが適用されます。
- サイトにサンプルデータをインストールできます。サンプルデータをインストールすると、SP Apps の使用例が確認できます。

補足

- 作成するサイトに対するユーザーの権限を親サイトから継承しない場合は、ユーザーやグループに対して、必要な権限を設定します。
2 章 ユーザーに必要な権限 - 7 ページ
- サイトを作成するには、サイトコレクションに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

- 1 子サイトを作成するサイトで、[サイトの操作]をクリックします。
- 2 [新しいサイト]をクリックします。
- 3 サイトテンプレートの一覧から「Cybozu SP Apps チームサイト」を選択し、各項目を入力します。
「Cybozu SP Apps チームサイト」が表示されない場合は、サイトコレクションで SP Apps チームサイトをアクティブ化する必要があります。
Cybozu SP Apps チームサイトをアクティブ化する - 13 ページ

- 4 [作成]をクリックします。
- 5 サイトにサンプルデータをインストールするかどうかを選択します。
 サンプルデータをインストールする場合は「サンプルデータあり」を選択し、サンプルデータに使用するユーザーを、SharePoint 2010 に登録されたユーザーの中から、3 人まで選択します。次に、[初期化する]をクリックします。
 サンプルデータに使用するユーザーは、スケジューラーの投稿権限を持つユーザーを指定してください。
 2章 ユーザーに必要な権限 - 7 ページ
 サンプルデータをインストールしない場合は、「サンプルデータなし」を選択して[初期化する]をクリックします。

Cybozu SP Apps チームサイトをアクティブ化する

ここでは、Cybozu SP Apps チームサイトをアクティブ化する手順を説明します。

サイトの作成画面に「Cybozu SP Apps チームサイト」が表示されない場合は、サイトコレクションで Cybozu SP Apps チームサイトをアクティブ化する必要があります。

- 1 トップレベルサイトで、[サイトの操作]をクリックします。
- 2 [サイトの設定]をクリックします。
- 3 [サイトコレクションの機能]をクリックします。
- 4 「Cybozu SP Apps チームサイト」に対応する[アクティブ化]をクリックします。

4.2 SP スケジューラーを削除する

SP スケジューラーと、SP スケジューラーのすべてのデータを、サイトから削除します。同じサイトに複数の SP スケジューラーを追加している場合でも、指定した SP スケジューラーだけが削除されます。

注意

- 削除した SP スケジューラーは、元に戻せません。

補足

- SP スケジューラーを削除するためには、サイトに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

- 1 削除する SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

- 2 [このリストの削除]をクリックします。
- 3 「確認済み」のチェックボックスを選択して[削除する]をクリックします。

5章 管理設定

5.1 ライセンスを管理する

ライセンスを登録したり、過去に登録したライセンスを確認したりします。

ライセンスは、Web アプリケーションごとに登録します。ライセンスの価格や購入方法については、弊社 Web サイトを参照してください。

<http://spapps.cybozu.com/jp/products/sp-list-scheduler/index.html>

補足

- 「サーバーの全体管理」にアクセスできるユーザー（「Farm Administrators」グループに所属するユーザー）だけが、ライセンスを管理できます。

5.1.1 ライセンスを登録する

- 「サーバーの全体管理」のトップページで、[ライセンスの管理]をクリックします。
- [お客様番号の登録]をクリックします。
2 回目以降のライセンス登録では、この手順は必要ありません。手順 4 に進みます。

お客様番号の登録画面に表示される項目

項目	説明
お客様番号	ライセンスキー証明書に記載されているお客様番号を入力します。

- [保存]をクリックします。
- [ライセンスの登録]をクリックします。
ライセンスキーの登録画面に表示される項目

項目	説明
ライセンスキー	ライセンスキー証明書に記載されているお客様番号を入力します。

- [保存]をクリックします。
- [ライセンスの反映]をクリックします。
登録したライセンスが SharePoint 2010 に反映されます。

5.1.2 お客様番号を更新する

- 1 「サーバーの全体管理」のトップページで、[ライセンスの管理]をクリックします。
- 2 [お客様番号の更新]をクリックします。
- 3 変更後のお客様番号を入力し、[保存]をクリックします。

5.1.3 ライセンスの登録履歴を確認する

- 1 「サーバーの全体管理」のトップページで、[ライセンスの管理]をクリックします。
- 2 [登録履歴]をクリックします。

5.2 グループ情報の取得元を設定する

ユーザーの選択に使用するグループの、情報の取得元を設定します。次の 3 つの中から、グループの情報の取得元を 1 つまたは複数選択します。

- SharePoint 2010 で設定しているグループ
- Active Directory で設定しているセキュリティーグループ
- Active Directory で設定している Organizational Units (OU)

セキュリティーグループをグループの情報の取得元に設定した場合、ユーザーは自分が閲覧権限を持つグループの所属ユーザーだけを選択できます。

グループ情報の取得元の設定は、サイトコレクション内で共通です。また、SP Apps のすべての機能で共通です。

補足

- グループ情報の取得元を設定するには、サイトコレクションに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理
- Active Directory をグループ情報の取得元にする場合は、SharePoint 2010 が動作しているサーバーの管理権限が必要です。

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [グループ情報の取得元の設定]をクリックします。

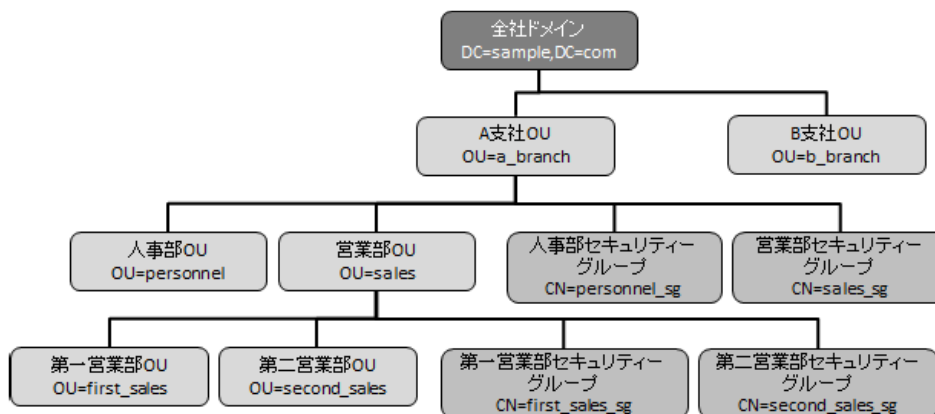
グループ情報の取得元の設定画面に表示される項目

項目	説明
ユーザーの選択で使用するグループ	ユーザーの選択で使用するグループにチェックを入れます。 Active Directory の OU またはグループを選択する場合は、[参照...]をクリックして「Active Directory を利用する場合の基点 DN」を指定します。 Active Directory を利用する場合の基点 DN を設定 - 17 ページ

Active Directory を利用する場合の基点 DN を設定する

Active Directory を利用する場合、グループ情報を取得する Active Directory のオブジェクトを、基点 DN に設定します。基点 DN に設定したオブジェクトよりも下位のレベルにあるすべての OU とセキュリティーグループが、ユーザーの選択に使用するグループとして設定されます。

Active Directory に次のオブジェクトが登録されている場合の例



基点 DN に「A 支社」を指定すると、次のオブジェクトがユーザーの選択に使用するグループとして設定されます。

- A 支社 OU
- 人事部 OU
- 営業部 OU
- 人事部セキュリティーグループ
- 営業部セキュリティーグループ
- 第一営業部 OU
- 第二営業部 OU
- 第一営業部セキュリティーグループ
- 第二営業部セキュリティーグループ

ここでは、「A 支社」を指定する場合を例に、基点 DN の設定手順を説明します。

基点 DN(サイト ユーザー アカウント ディレクトリ パス)の設定の詳細は、Microsoft 社の Web サイトを参照してください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc263328.aspx>

1 SharePoint 2010 が動作しているフロントエンド Web サーバーに、次のグループに所属するユーザーでログインします。

- Administrators グループ
- WSS_ADMIN_WPG グループ

2 コマンドプロンプトを起動し、次のコマンドを実行します。

```
"C:¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥Web Server Extensions¥14¥BIN¥STSADM.exe"  
-o setsiteuseraccountdirectorypath -path "(基点の識別名)" -url (サイトコレクションの URL)
```

例:

```
"C:¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥Web Server Extensions¥14¥BIN¥STSADM.exe"  
-o setsiteuseraccountdirectorypath -path "OU=a_branch,DC=sample,DC=com" -url  
http://sample.cybozu.co.jp/
```

5.3 施設を設定する

会議室やプロジェクターなど、予定で使用する施設を設定します。

必要に応じて、施設を用途や種類ごとに分類して、施設グループとして設定します。施設を予約するときに、施設グループの中から施設を選択できます。

施設と施設グループの設定は、サイトコレクション内で共通です。

補足

- CSV ファイルを使用して、施設や施設グループを一括で設定することもできます。
5.3.4 CSV ファイルで施設や施設グループを管理する - 22 ページ
- 施設を設定するには、サイトコレクションに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

5.3.1 施設の設定

施設を登録する

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [施設の追加や削除]をクリックします。
- 3 [新しい施設]をクリックします。

4 必要な項目を指定します。

施設の追加画面に表示される項目

項目	説明
タイトル	施設名を入力します。
説明	ユーザー向けに、施設の説明を入力します。
施設グループ	この施設を所属させる施設グループを選択します。 施設グループの管理画面で、この施設を施設グループに所属させることもできます。

5 [保存]をクリックします。

施設の設定を変更する

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [施設の追加や削除]をクリックします。

3 情報を編集する施設のタイトルをクリックします。

4 [アイテムの編集]をクリックします。

5 必要な項目を変更します。

設定項目の説明は、次の項を参照してください。
施設を登録する - 18 ページ

6 [保存]をクリックします。

施設をごみ箱に移動する

サイトコレクションのごみ箱に施設を移動します。

注意

- 削除する施設を予約している予定は、施設の予約が削除されます。

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [施設の追加や削除]をクリックします。

3 削除する施設のタイトルをクリックします。

複数の施設を一括で削除する場合は、削除する各施設のチェックボックスを選択します。

4 「アイテム」タブの[アイテムの削除]をクリックします。

- 5 [OK]をクリックします。

5.3.2 施設グループの設定

施設グループを追加する

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [施設グループの追加や削除]をクリックします。
- 3 [新しい施設グループ]をクリックします。
- 4 必要な項目を指定します。

施設グループの追加画面に表示される項目

項目	説明
タイトル	施設グループ名を入力します。
説明	ユーザー向けに、施設グループの説明を入力します。
施設	この施設グループに所属させる施設を選択します。 施設の管理画面で、この施設グループに施設を所属させることもできます。

- 5 [保存]をクリックします。

施設グループの設定を変更する

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [施設グループの追加や削除]をクリックします。
- 3 情報を編集する施設グループのタイトルをクリックします。
- 4 [アイテムの編集]をクリックします。
- 5 必要な項目を変更します。
設定項目の説明は、次の項を参照してください。
施設グループを追加する - 20 ページ
- 6 [保存]をクリックします。

施設グループをごみ箱に移動する

サイトコレクションのごみ箱に施設グループを移動します。

補足


- 施設グループを削除すると、その施設グループに所属する施設は、施設グループに未所属の施設になります。
- SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
 - [施設グループの追加や削除]をクリックします。
 - 削除する施設グループのタイトルをクリックします。
複数の施設グループを一括で削除する場合は、削除する各施設グループのチェックボックスを選択します。
 - 「アイテム」タブの[アイテムの削除]をクリックします。
 - [OK]をクリックします。

5.3.3 SP スケジューラーごとに施設を設定する

SP スケジューラーごとに、使用する施設を設定します。1つのサイトコレクション内で、複数の SP スケジューラーを使用している場合は、SP スケジューラーごとに異なる施設を設定できます。初期設定では、すべての施設を利用できます。

SP スケジューラーごとに施設を設定する場合は、施設グループ単位で設定します。施設グループの設定については、次の項を参照してください。

5.3.2 施設グループの設定 - 20 ページ

- 施設を設定する SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- [使用する施設の選択]をクリックします。
- 「利用可能な施設」で、「次の施設グループに所属する施設」を選択します。
- この SP スケジューラーで設定する施設が所属する施設グループの名前を入力し、[Enter]キーを押します。
複数の施設グループを選択する場合は、施設グループの名前を「;(セミコロン)」で区切って入力します。
をクリックすると、施設グループを一覧から選択できます。
- [OK]をクリックします。

5.3.4 CSV ファイルで施設や施設グループを管理する

CSV ファイルを使用して、施設や施設グループを一括で設定します。設定を CSV ファイルに書き出して、バックアップすることもできます。

補足

- 施設や施設グループを設定するには、サイトコレクションに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

CSV ファイルを作成する

CSV ファイルのフォーマットや、CSV ファイルを作成するときの注意点を説明します。

施設の CSV ファイルのフォーマット

各施設の設定を、次のフォーマットで記述します。複数の施設を設定する場合は、施設ごとに行を分けて記述します。

施設コード,施設名,施設の説明,施設が所属する施設グループコード

設定例:

1,小会議室,少人数用の会議室です。,dde71f14
2,大会議室,大人数用の会議室です。,dde71f14

補足

- 「施設コード」は、各施設に対してシステム上で割り当てられる固有の値です。施設を作成する場合は、既存の施設と重複しない値を指定します。
- CSV ファイルに記述した施設コードに関わらず、作成する施設の施設コードは、システムが割り当てる固有の値で上書きされます。

施設グループの CSV ファイルのフォーマット

各施設グループの設定を、次のフォーマットで記述します。複数の施設グループを設定する場合は、施設グループごとに行を分けて記述します。

施設グループコード,施設グループ名,施設グループの説明

設定例:

1,1 階,1 階の会議室です。
1,2 階,2 階の会議室です。

補足

- 「施設グループコード」は、各施設グループに対してシステム上で割り当てられる固有の値です。施設グループを作成する場合は、既存の施設グループと重複しない値を指定します。

- CSV ファイルに記述した施設グループコードに関わらず、作成する施設グループの施設グループコードは、システムが割り当てる固有の値で上書きされます。

CSV ファイルを作成するときの注意点

- フィールド内に「,(カンマ)」や「LF」(Excel のセルの中の改行コード)を含む場合は、フィールドを「"(二重引用符)」で囲みます。

設定例:

```
0e4c3ed6,会議室 1,"会議,セミナーに使用する会議室です。",dde71f14
```

- フィールド内に「"(二重引用符)」を含む場合は、「"」のように 2 つ並べて記述します。また、フィールドを「"(二重引用符)」で囲みます。

設定例:

```
0e4c3ed6,会議室 1,"""会議""や""セミナー""に使用する会議室です。",dde71f14
```

施設や施設グループの設定をインポートする

設定を記述した CSV ファイルを作成して、施設や施設グループの設定を CSV ファイルからインポートします。SP スケジューラーから設定を書き出した CSV ファイルもインポートできます。

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 インポートする設定の種類に応じたリンクをクリックします。
施設の設定をインポートする場合は、[施設を CSV ファイルからインポート]をクリックします。
施設グループの設定をインポートする場合は、[施設グループを CSV ファイルからインポート]をクリックします。

- 3 必要な項目を指定します。

CSV ファイルの読み込み画面に表示される項目

項目	説明
ファイル	[参照...]をクリックして、インポートする CSV ファイルを指定します。
文字コード	インポートする CSV ファイルの文字コードを指定します。
先頭行をスキップする	CSV ファイルの先頭行が項目名の場合は、チェックを入れます。

- 4 [次へ >>]をクリックします。
- 5 インポートする CSV ファイルのフォーマットが正しいことを確認し、[インポート]をクリックします。

施設や施設グループの設定をエクスポートする

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 エクスポートする設定の種類に応じたリンクをクリックします。
施設の設定を書き出す場合は、[施設を CSV ファイルにエクスポート]をクリックします。
施設グループの設定を書き出す場合は、[施設グループを CSV ファイルにエクスポート]をクリックします。

3 必要な項目を指定します。

CSV ファイルの書き出し画面に表示される項目

項目	説明
文字コード	CSV ファイルの文字コードを指定します。
先頭行に項目名を書き出す	CSV ファイルの先頭行に項目名を書き出す場合は、チェックを入れます。

4 [エクスポート]をクリックします。

5.4 SP Apps グループを管理する

SP Apps グループは、ユーザーや施設をグループ化するための設定です。設定した SP Apps グループは、SP スケジューラーで、予定の参加者や利用施設を指定する際に使用できます。SP スケジューラーの各ユーザーが個人で設定する「My グループ」と異なり、SP Apps グループは、管理者が設定します。作成したグループは、グループごとに許可したユーザーが使用できます。

SP Apps グループの設定は、Web アプリケーション内のすべての SP Apps で共通です。

5.4.1 SP Apps グループを追加する

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [SP Apps グループの管理]をクリックします。

3 [新しい SP Apps グループ]をクリックします。

4 各項目を指定します。

「ログの詳細」ダイアログボックスに表示される項目

項目	説明
タイトル	SP Apps グループの名前を入力します。
ユーザー	グループに登録するユーザーを選択します。
施設	グループに登録する施設を選択します。
権限	グループを利用できるユーザーを選択します。
並び順	グループの表示位置を選択します。

5 [保存]をクリックします。

5.4.2 SP Apps グループの設定を変更する

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [SP Apps グループの管理]をクリックします。

- 3 設定を変更する SP Apps グループの名前をクリックします。
- 4 必要な項目を変更します。
各項目の説明は、次の項を参照してください。
5.4.1 SP Apps グループを追加する - 24 ページ
- 5 [保存]をクリックします。

5.4.3 SP Apps グループを並び替える

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [SP Apps グループの管理]をクリックします。
- 3 [並び替え]をクリックします。
- 4 矢印アイコンをクリックしてグループを並び替えます。
- 5 [保存]をクリックします。

5.4.4 SP Apps グループを削除する

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [SP Apps グループの管理]をクリックします。
- 3 削除する SP Apps グループのチェックボックスを選択します。
- 4 [削除]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。

5.5 ログを管理する

この節では、ログの管理に関する、次の方法について説明します。

- ログの保存期間や記録内容を設定する
- ログを閲覧する
- ログをファイルに書き出す
- ログを削除する

ログには、ユーザーや管理者の操作ログ、および操作中に表示されたエラーが記録されます。記録されるログの詳細は、次の付録を参照してください。

付録 A ログ一覧 - 37 ページ

ログの設定は、サイトコレクション内のすべての SP Apps で共通です。すべての SP Apps のログを一括して管理します。

補足

- ログを設定および閲覧するには、サイトコレクションに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

5.5.1 ログを設定する

ログの保存期間や記録内容を設定します。

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [ログの管理]をクリックします。
- 3 [設定]をクリックします。

「ログの設定」画面に表示される項目

項目	説明
ログの保持日数	ログを保存する日数を 1 から 999 で指定します。
記録する深刻度	ログに記録する操作の深刻度を選択します。 深刻度の種類については、「ログの深刻度」の表を参照してください。 深刻度ごとに出力されるログについては、次の付録を参照してください。 付録 A ログ一覧 - 37 ページ
記録対象	ログに記録する SP Apps のリストを選択します。 「基本システム」を選択すると、SP Apps の各リスト (SP ディスカッションや SP スケジューラーなど) で共通の操作のログが記録されます。 例: Web パーツの設定、My グループの設定
一覧で表示する件数	「ログの管理」画面で 1 画面に表示するログの件数を指定します。

ログの深刻度

項目	説明
エラー	操作中にエラーメッセージが表示された場合に、そのエラーメッセージがログに記録されます。
警告	バージョン 1.1.0 では、出力されません。
重要情報	データを更新する操作がログに記録されます。 例: 設定の変更、予定の登録
一般情報	主に、データを更新しない操作がログに記録されます。 例: サイトのスタイルの変更

- 4 [OK]をクリックします。

5.5.2 ログを閲覧する

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [ログの管理]をクリックします。

記録されたログの一覧が表示されます。ログを選択して「アイテム」タブの[アイテムの表示]をクリックすると、ログの詳細が表示されます。

「ログの詳細」ダイアログボックスに表示される項目

項目	説明
対象	操作されたリストが、次の形式で表示されます。 (トップレベルサイト名) > (サイト名) > ... > (リスト名) 例: 全社ポータル > 営業部ポータル > SP スケジューラー
対象 ID	操作されたリストに対して、システムが割り当てた ID です。
深刻度	ログの深刻度です。
内容	ログの内容です。 ログの見かたは次の付録を参照してください。 付録 A ログ一覧 - 37 ページ
操作タイプ	行われた操作のタイプです。 操作には次のタイプがあります。 [View]: 閲覧 [Create]: 作成 [Modify]: 編集 [Delete]: 削除 [DeleteMulti]: 一括削除 [Config]: 設定 [Import]: インポート [Export]: エクスポート
アイテム ID	操作対象のアイテムに対して、システムが割り当てた ID です。
その他の情報	操作対象のアイテムの詳細です。
操作したユーザー	操作したユーザーの名前です。
ホスト名	操作した端末のホスト名です。IP アドレスを名前解決できない場合は、IP アドレスが表示されます。
IP アドレス	操作した端末の IP アドレスです。

5.5.3 ログをごみ箱に移動する

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [ログの管理]をクリックします。

3 削除するログのチェックボックスを選択し、「アイテム」タブの[アイテムの削除]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。

手順 3 で選択したログが、サイトコレクションのトップレベルサイトのごみ箱に移動します。

5.5.4 ログをファイルに書き出す

ログを CSV 形式のファイルに書き出します。

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [ログの管理]をクリックします。
- 3 [ログの書き出し]をクリックします。
- 4 各項目を指定します。

ログの書き出し画面の項目

項目	説明
対象	ファイルに書き出す SP Apps のリストを選択します。
深刻度	ファイルに書き出すログの深刻度を選択します。 深刻度の種類については、「ログの深刻度」の表を参照してください。
書き出す期間	ファイルに書き出す期間を指定します。
文字コード	書き出す CSV ファイルの文字コードを選択します。
先頭行に項目名を書き出す	CSV ファイルの先頭行に項目名を書き出す場合は、チェックボックスを選択します。

5.6 Web パーツを設定する

サイトのトップページには、次の種類の Web パーツを設定できます。

- SP スケジューラー Web パーツ
SP スケジューラーのカレンダーを表示します。カレンダーに予定を表示するユーザー、グループ、施設や施設グループを選択できます。
- 最新情報 Web パーツ
ログインユーザーに関連する予定が更新された場合に、通知が表示されます。SP スケジューラーの通知だけでなく、SP ディスカッションなどの SP Apps のすべての機能の通知が表示されます。最新情報 Web パーツには、未確認の通知のみが表示されます。
SP スケジューラーの通知は、次の場合に表示されます。
 - ログインユーザーの予定が新しく登録された
 - ログインユーザーの予定が変更された
 - ログインユーザーの予定が削除された
 - ログインユーザーの予定にコメントが書き込まれた

補足

- SP Apps のサイト テンプレートを使用して作成したサイトには、最新情報 Web パーツが設定されています。
- Web パーツを設定するには、サイトに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

Web パーツを追加する

- 1 Web パーツを設定するサイトのページで、「ページ」タブの[ページの編集]をクリックします。
- 2 Web パーツを挿入する位置の[Web パーツの追加]をクリックします。
- 3 「Cybozu SP Apps」カテゴリから追加する Web パーツを選択し、[追加]をクリックします。

「Cybozu SP Apps」カテゴリに表示される Web パーツ

Web パーツ	説明
スケジューラー(日ビュー)	1 日の予定が表示されます。
スケジューラー(週ビュー)	1 週間の予定が表示されます。
スケジューラー(月ビュー)	1 ヶ月の予定が表示されます。
最新情報(Cybozu SP Apps)	最新情報 Web パーツです。

5.6.1 Web パーツの設定

Web パーツの設定項目を説明します。

スケジューラー(日ビュー)、およびスケジューラー(週ビュー)

項目	説明
Cybozu SP スケジューラー	サイトに複数の SP スケジューラーを追加している場合は、Web パーツにカレンダーを表示する SP スケジューラーを選択します。
ログインユーザーの予定	ログインユーザーの予定を Web パーツに表示する場合に選択します。
ユーザーまたは施設の予定	ログインユーザー以外のユーザー、または施設の予定を Web パーツに表示する場合に選択します。 また、「ユーザー」欄や「施設」欄に、Web パーツに予定を表示するユーザーや施設の名前を入力します。
SharePoint のグループの予定	SharePoint に設定されたグループに所属するユーザーの予定を Web パーツに表示する場合に選択します。 管理者の設定によっては、この項目は表示されません。
Active Directory のセキュリティグループまたは OU	Active Directory に設定された OU やセキュリティグループに所属するユーザーの予定を Web パーツに表示する場合に選択します。 管理者の設定によっては、この項目は表示されません。
施設グループの予定	施設グループに所属する施設の予定を表示する場合に選択します。

スケジューラー(月ビュー)

項目	説明
Cybozu SP スケジューラー	サイトに複数の SP スケジューラーを追加している場合は、Web パーツにカレンダーを表示する SP スケジューラーを選択します。
ログインユーザーの予定	ログインユーザーの予定を Web パーツに表示する場合に選択します。
ユーザー	Web パーツに予定を表示するユーザーの名前を入力します。
施設	Web パーツに予定を表示する施設の名前を入力します。

最新情報(Cybozu SP Apps)

項目	説明
表示する項目	Web パーツに表示する項目を選択します。
表示する通知数	Web パーツに表示する通知の最大数を指定します。

5.7 予定の保存期間を変更する

過去の予定の保存期間を変更します。デフォルトの設定では、保存期間は1年間です。

保存される予定データが増大すると、SP スケジューラーの動作のパフォーマンスが低下する場合があります。予定の保存期間を短くすることで、パフォーマンスの低下を防げます。

終了日時を基準に、保存期間を過ぎた予定は、自動的に削除されます。繰り返し予定は、繰り返しの終了日を基準に、保存期間を過ぎたすべての予定が削除されます。

注意

- 一度削除された予定は、元に戻せません。

補足

- 手動で予定を一括削除することもできます。
5.13 予定を一括削除する - 36 ページ
- 削除は、サーバーに設定した時刻の午前0時から6時までの間に実行されます。
- タイマージョブ「Cybozu SP List Scheduler - Auto Cleanup」を停止すると、予定は削除されません。

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [一般設定]をクリックします。

3 必要な項目を指定します。

一般設定画面の項目

項目	説明
過去の予定の自動削除	予定の保存期間を選択します。 「無期限」を選択すると、過去のすべての予定が保存されます。

4 [OK]をクリックします。

5.8 非公開予定を設定する

非公開予定の登録に関する項目を設定します。

非公開予定とは、予定のタイトルや参加者などの情報が、参加者だけに公開される予定です。参加者以外には、予定の開始時刻と終了時刻だけが公開されます。

次の項目を設定できます。

- 非公開の予定の登録を禁止する
- 予定のデフォルトを非公開にする

補足

- 非公開予定の登録に関する項目を設定するには、SP スケジューラーのリストに対して次の権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [一般設定]をクリックします。

3 必要な項目を指定します。

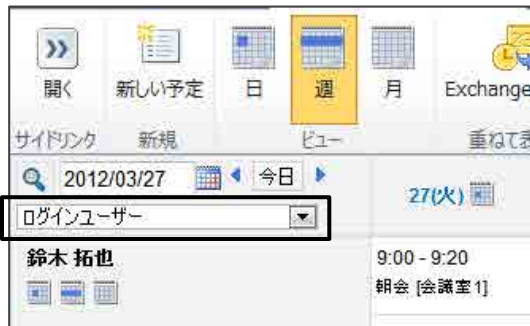
一般設定画面の項目

	項目	説明
非公開の予定	登録できる	非公開の予定の登録を禁止する場合は、チェックボックスの選択を外します。
	既定で非公開にする	既定で予定を非公開にする場合は、チェックボックスを選択します。

4 [OK]をクリックします。

5.9 カレンダーのグループの選択肢を設定する

カレンダーのグループの選択肢に表示する内容を設定します。



次のどちらか 1 つを選択します。

- すべての SharePoint グループを表示する
- そのユーザーが所属するグループだけを表示する

デフォルトでは、そのユーザーが所属するグループだけが表示されます。

補足

- カレンダーのグループの選択肢を設定するためには、SP スケジューラーのリストに対して次の権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [一般設定]をクリックします。

3 必要な項目を指定します。

一般設定画面の項目

項目	説明
カレンダーのグループ選択	グループの選択肢にすべての SharePoint グループを表示する場合は、チェックボックスを選択します。

4 [OK]をクリックします。

5.10 Exchange Server 連携を設定する

SP スケジューラーを Exchange Server と連携するために必要な情報を設定します。Exchange Server と連携すると、Exchange Server に登録された予定を、SP スケジューラーのカレンダーに表示できます。

Exchange Server 連携機能は、Exchange Server 2010 に対応しています。

補足

- Exchange Server 連携を設定するには、SP スケジューラーのリストに対して次の権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。

2 [一般設定]をクリックします。

3 必要な項目を指定します。

一般設定画面の項目

項目		説明
連携する Exchange Server	連携する	Exchange Server と連携する場合は、チェックボックスを選択します。
	URL	Exchange Web Service の URL を指定します。
	電子メールアドレスドメイン	Exchange Server で設定している電子メールのドメインを指定します。複数のドメインを使用している場合は、セミコロンで区切ってドメインを入力します。
	キャッシュを保持する時間	Exchange Server から取得したデータのキャッシュを保持する時間を、0～60 分の間で指定します。

4 [OK]をクリックします。

5.11 カレンダーにイベントを設定する

祝日や休業日などをカレンダーに設定します。

補足

- カレンダーにイベントを設定するには、SP スケジューラーのリストに対して次のいずれかの権限が必要です。
 - フルコントロール
 - デザイン
 - 階層の管理

イベントの表示例

20(火)	21(水)
春分の日	

5.11.1 イベントを追加する

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [イベントの設定]をクリックします。
- 3 [新しいイベント]をクリックします。

イベントの追加画面に表示される項目

項目	説明
タイトル	カレンダーに表示されるイベント名を入力します。
種類	イベントの種類を選択します。

項目	説明
日付	イベントの日付を選択します。

4 [保存]をクリックします。

5.11.2 イベントのタイトルや日付を変更する

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [イベントの設定]をクリックします。
- 3 情報を編集するイベントのタイトルをクリックします。
- 4 「アイテム」タブの[アイテムの編集]をクリックします。
- 5 必要に応じて項目を編集し、[保存]をクリックします。

5.11.3 イベントを削除する

- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
- 2 [イベントの設定]をクリックします。
- 3 削除するイベントのタイトルをクリックします。
複数のイベントを一括で削除する場合は、削除するイベントのチェックボックスを選択します。
- 4 「アイテム」タブの[アイテムの削除]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。

5.12 インターネット予定表の公開機能を有効化する

SP スケジューラーのカレンダーを、インターネット予定表として公開できます。

カレンダーを公開する機能を有効化するためには、SharePoint 2010 の Web アプリケーションとサイトコレクションの管理設定で、匿名アクセスを有効化する必要があります。

Web アプリケーションで匿名アクセスを有効化する

- 1 SharePoint 2010 の「サーバーの全体管理」のトップページで、「アプリケーション構成の管理」セクションの [Web アプリケーションの管理] をクリックします。
- 2 カレンダーを公開する SP スケジューラーが所属する Web アプリケーションを選択し、リボンメニューの [認証プロバイダー] をクリックします。
- 3 「認証プロバイダー」ダイアログで、[既定] をクリックします。
- 4 「認証の編集」ダイアログで、「匿名アクセスの有効化」のチェックボックスを選択し、[保存] をクリックします。
- 5 リボンメニューの [匿名ポリシー] をクリックします。
- 6 「匿名アクセス制限」ダイアログで、「領域」から「(すべての領域)」を選択し、「匿名ユーザー ポリシー」から「なし - ポリシーを適用しません」のラジオボタンを選択します。
- 7 [保存] をクリックします。

サイトコレクションで匿名アクセスを有効化する

- 1 トップレベルサイトで、[サイトの操作] をクリックします。
- 2 [サイトの設定] をクリックします。
- 3 「ユーザーと権限」セクションの [サイトの権限] をクリックします。
- 4 リボンメニューの「権限ツール」タブで、[匿名アクセス] をクリックします。
- 5 「リストとライブラリ」のラジオボタンを選択します。
- 6 [OK] をクリックします。

5.13 予定を一括削除する

SP スケジューラーに登録した予定が蓄積すると、動作のパフォーマンスが低下する場合があります。古い予定を削除することで、パフォーマンスの向上を見込めます。

注意

- 一度削除した予定は、元に戻せません。
- 1 SP スケジューラーのページで、「サイボウズ SP スケジューラー」タブの[管理設定]をクリックします。
 - 2 [予定の一括削除]をクリックします。
 - 3 「次の日付より前の予定を削除する」で、日付を指定します。
ここで指定した日付より古い予定がすべて削除されます。
 - 4 [削除する]をクリックします。
 - 5 [OK]をクリックします。

付録A ログ一覧

管理者やユーザーの操作ログ、および操作中に表示されたエラーが、次のフォーマットで出力されます。

ログのフォーマット

[操作タイプ] 操作対象 (操作対象の ID; 詳細情報)

出力例:

[Create] EventComment (ID:2; Discription:'<div>営業部定例会</div>'; Event:7)

各項目の説明

項目	説明
操作タイプ	操作には次のタイプがあります。 [View]: 閲覧 [Create]: 作成 [Modify]: 編集 [Delete]: 削除 [DeleteMulti]: 一括削除 [Config]: 設定 [Import]: インポート [Export]: エクスポート
操作対象	操作したリストです。
操作対象の ID	システムが操作対象のリストに割り当てた ID です。
詳細情報	次の種類の値があります。 <i>bool</i> : はい、またはいいえ (TRUE または FALSE) <i>date</i> : UTC での日付 (yyyy-MM-dd) <i>datetime</i> : UTC での時刻 (yyyy-MM-ddThh:mm:ss) <i>integer</i> : 整数 <i>ids</i> : アイテム ID ('ID;#ID;# ...') <i>item</i> : アイテム ('ID;#アイテム名') <i>string</i> : 文字列 <i>user</i> : ユーザー情報 (ユーザーID;#ユーザーの名前) <i>users</i> : ユーザー情報 ('ユーザーID;#ユーザーの名前;#ユーザーID;#ユーザーの名前;# ...')

基本システムのログ

グループ情報の取得元

SharePointGroup: SharePoint 2010 のグループ情報の取得

ActiveDirectoryOU: Active Directory の OU の情報の取得

ActiveDirectoryGroup: Active Directory のグループの情報の取得

UsingActiveDirectory: 基点 DN に指定した値

操作の種類	深刻度	フォーマット
設定	重要情報	[Config] Group (SharePointGroup: <i>bool</i> ; ActiveDirectoryOU: <i>bool</i> ; ActiveDirectoryGroup: <i>bool</i> ; UsingActiveDirectory: <i>string</i>)

施設

ID:施設 ID Title:タイトル Description:説明 FacilityGroup:所属する施設グループ

操作の種類	深刻度	フォーマット
作成	重要情報	[Create] Facility (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> '; FacilityGroup:' <i>string</i> ')
編集	重要情報	[Modify] Facility (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> '; FacilityGroup:' <i>string</i> ')
削除	重要情報	[Delete] Facility (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> ')

施設グループ

ID:施設グループ ID Title:タイトル Description:説明

操作の種類	深刻度	フォーマット
作成	重要情報	[Create] FacilityGroup (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> ')
編集	重要情報	[Modify] FacilityGroup (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> ')
削除	重要情報	[Delete] FacilityGroup (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> ')

ログ

LogRetentionPeriod:ログの保存日数 RecordedType:記録する深刻度

NumberOfItemsToDisplay:一覧で表示する件数 RecordedTargets:記録対象

操作の種類	深刻度	フォーマット
設定	重要情報	[Config] Log (LogRetentionPeriod: <i>integer</i> ; RecordedType:' <i>string</i> '; NumberOfItemsToDisplay: <i>integer</i> ; RecordedTargets:' <i>string</i> ')
エクスポート	重要情報	[Export] Log

My グループ

ID:My グループ ID Title:タイトル Members:所属ユーザー Facilities:所属施設 DisplayOrder:並び順

操作の種類	深刻度	フォーマット
作成	重要情報	[Create] MyGroup (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; Members:' <i>users</i> '; Facilities:' <i>string</i> '; DisplayOrder: <i>integer</i>)
編集	重要情報	[Modify] MyGroup (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; Members:' <i>users</i> '; Facilities:' <i>string</i> '; DisplayOrder: <i>integer</i>)
削除	重要情報	[Delete] MyGroup (Items:'(ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '); (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '); ...)

最新情報 Web パーツ

Title:Web パーツタイトル Fields の Title:タイトルの表示 Name:更新者の表示

LastUpdated:最終書込日時の表示 TitleLength:タイトルに表示する文字数

NotificationstoDisplay:表示する通知数

操作の種類	深刻度	フォーマット
設定	重要情報	[Config] WhatsNewWebPart (Title:' <i>string</i> '; Fields:'(Title: <i>bool</i> ;Name: <i>bool</i> ;LastUpdated: <i>bool</i>)'; TitleLength: <i>integer</i> ; NotificationstoDisplay: <i>integer</i>)

サイトのスタイル

ID:サイト ID Theme:テーマ名 ApplySubsite:サブサイトへのスタイル適用

操作の種類	深刻度	フォーマット
設定	一般情報	[Config] Theme (ID:' <i>string</i> '; Theme:' <i>string</i> '; ApplySubsites: <i>bool</i>)

Cybozu SP Apps チームサイト

ID:サイト ID Title:タイトル Description:説明 URL:URL

操作の種類	深刻度	フォーマット
作成	重要情報	[Create] TeamSite (ID:' <i>string</i> '; Title:' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> '; URL:' <i>string</i> ')

SP スケジューラーのログ

リスト

ID:リストID Name:リスト名 Description:説明 QuickLaunch:サイドリンクバーの表示

操作の種類	種類	フォーマット
作成	重要情報	[Create] SchedulerList (ID:'string'; Name:'string'; Description:'string'; QuickLaunch:bool)
削除	重要情報	[Delete] SchedulerList (ID:'string'; Name:'string')

使用する施設の選択

FacilityGroups:使用可能な施設が所属する施設グループ

操作の種類	種類	フォーマット
設定	重要情報	[Config] FacilitySettings(FacilityGroups:'item')

イベント

ID:イベントID Title:タイトル Type:種類 Date:日付

操作の種類	種類	フォーマット
追加	重要情報	[Create] Calendar (ID:integer; Title:'string'; Type:'string'; Date:date)
変更	重要情報	[Modify] Calendar (ID:integer; Title:'string'; Type:'string'; Date:date)
削除 *	重要情報	[Delete] Calendar (ID:integer; Title:'string'; Type:'string'; Date:date)

* :複数のイベントを一括削除した場合には、ログが出力されません。

Web パーツ(日ビュー)

Title:Web パーツタイトル SchedulerList:カレンダーを表示する SP スケジューラー

Value:ログインユーザーの予定を Web パーツに表示する場合は「Logged-inUser:TRUE」が表示されます。ほかのユーザーや施設の予定を表示する場合は、ユーザー名や施設名が表示されます。

操作の種類	種類	フォーマット
設定	重要情報	[Config] SchedulerDayViewWebPart (Title:'string'; SchedulerList:'string'; Value)

Web パーツ(週ビュー)

Title:Web パーツタイトル SchedulerList:カレンダーを表示する SP スケジューラー

Value:ログインユーザーの予定を Web パーツに表示する場合は「Logged-inUser:TRUE」が表示されます。ほかのユーザーや施設の予定を表示する場合は、ユーザー名や施設名が表示されます。

操作の種類	種類	フォーマット
設定	重要情報	[Config] SchedulerWeekViewWebPart (Title:'string'; SchedulerList:'string'; Value)

Web パーツ(月ビュー)

Title:Web パーツタイトル SchedulerList:カレンダーを表示する SP スケジューラー

Value:ログインユーザーの予定を Web パーツに表示する場合は「Logged-inUser:TRUE」が表示されます。ほかのユーザーや施設の予定を表示する場合は、ユーザー名や施設名が表示されます。

操作の種類	種類	フォーマット
設定	重要情報	[Config] SchedulerMonthViewWebPart (Title:'string'; SchedulerList:'string'; Value)

予定

ID: 予定 ID Title: タイトル PartID: 予定のアイテム ID Start: 開始時刻 End: 終了時刻
 RepeatThisEvent: 予定の繰り返し Description: 説明 Attendees: 参加者 Facilities: 施設
 Private: 予定の非公開 Sccess: インポートされた予定の件数 Skipped: スキップされた予定の件数
 Error: インポートに失敗した予定の件数 FromDate: エクスポートの開始日 ToDate: エクスポートの終了日
 Count: エクスポートされた予定の件数

操作の種類	種類	フォーマット
登録	重要情報	[Create] Event (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; PartID:' <i>string</i> '; Start: <i>datetime</i> ; End: <i>datetime</i> ; RepeatThisEvent:' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> '; Attendees:' <i>users</i> '; Facilities:' <i>item</i> '; Private: <i>bool</i>)
変更	重要情報	[Modify] Event (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; PartID:' <i>string</i> '; Start: <i>datetime</i> ; End: <i>datetime</i> ; RepeatThisEvent:' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> '; Attendees:' <i>users</i> '; Facilities:' <i>item</i> '; Private: <i>bool</i>)
削除	重要情報	[Delete] Event (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; PartID:' <i>string</i>)
抜ける	一般情報	[Modify] LeaveEvent (ID: <i>integer</i> ; Title:' <i>string</i> '; PartID:' <i>string</i> '; Start: <i>datetime</i> ; End: <i>datetime</i> ; RepeatThisEvent' <i>string</i> '; Description:' <i>string</i> '; Attendees:' <i>users</i> '; Facilities:' <i>item</i> ')
インポート	重要情報	[Import] Event (Success:' <i>integer</i> '; Skipped:' <i>integer</i> '; Error:' <i>integer</i>)
エクスポート	重要情報	[Export] Event (FromDate:' <i>date</i> '; ToDate:' <i>date</i> '; Count:' <i>integer</i>)

コメント

ID: コメント ID Description: コメント Event: 予定 ID

操作の種類	種類	フォーマット
書き込み	重要情報	[Create] EventComment (ID: <i>integer</i> ; Description:' <i>string</i> '; Event: <i>integer</i>)
削除	重要情報	[Delete] EventComment (ID: <i>integer</i> ; Description:' <i>string</i> ')

管理の一般設定

Allow: 非公開予定の登録の許可 SelectedasDefault: 既定で非公開にする
 Activated: Exchange Server 連携の有効化 Url: URL MailDomain: 電子メールアドレス
 CacheRetentionTime: キャッシュの保持時間

操作の種類	種類	フォーマット
設定	重要情報	[Config] GeneralSetting (PrivateEvent:(Allow: <i>bool</i> ;SelectedasDefault: <i>bool</i>); Exchange:(Activated: <i>bool</i> ; Url:' <i>string</i> '; MailDomain:' <i>string</i> '; CacheRetentionTime: <i>integer</i>))

個人の一般設定

Scheduler: SP スケジューラーのリスト ID ReceiveEmail: 電子メール通知の受信
 Password: Exchange Server のパスワード *

操作の種類	種類	フォーマット
設定	重要情報	[Config] SchedulerList(Scheduler:' <i>string</i> '; ReceiveEmail: <i>bool</i> ; Password:' <i>string</i>)

* :パスワードは「*****」と表示されます。

発行日 2014年8月 第2.7版発行
発行者 サイボウズ株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12F

Copyright (C) 2011-2014 Cybozu